



# DG Value News

第40期中間のご報告

2020年1月1日～2020年6月30日



**TrueVIS**  
VF2-640

ローランド ディー.ジー. 株式会社

証券コード 6789



## ステークホルダーの皆さまの 健康や安全を第一に 事業活動を推進してまいります

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまおよび関係者の皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に甚大な影響をもたらしているなか、当社グループでは、抜本的な業務効率の改善に着手し、競争力の強化を図るとともに、コロナ禍の市場の変化に対応し、独自の強みを活かせる打ち手を検討・展開しております。

今後も不透明な状況が続くと想定されますが、当社グループでは、株主さまをはじめ、お客さま、従業員など全てのステークホルダーの皆さまの健康や安全を第一に事業活動を推進してまいります。

代表取締役社長

田部 耕平



## ■ 株主還元

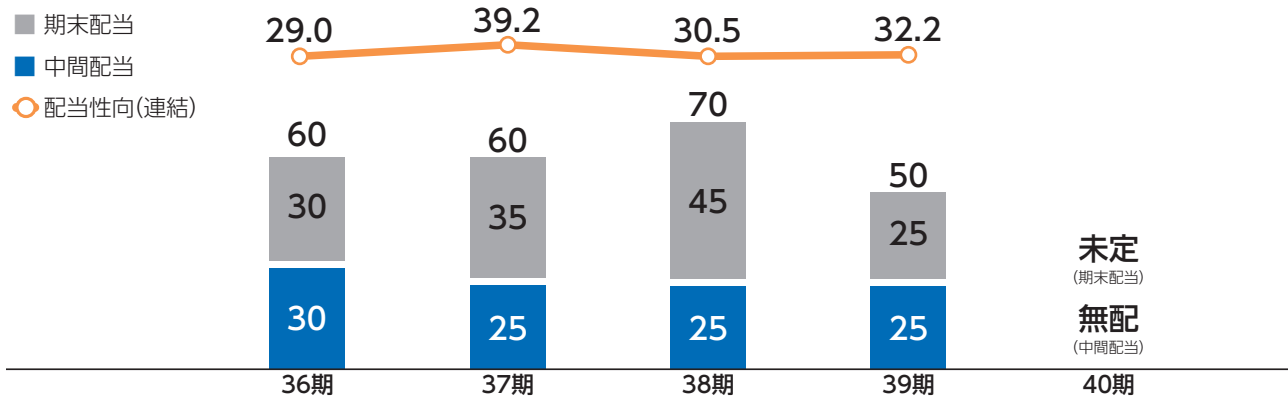
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最優先と考え、連結利益に対する配当性向30%を念頭に今後の事業展開を総合的に勘案の上、決定したいと考えております。

しかしながら、当第2四半期は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の急激な減速を受け、当社グループにおきましても親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなり、当期の中間配当につきましては誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。なお、期末の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます、今後の業績動向を見極めつつ検討してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1株当たり配当金／配当性向(連結)

(単位：円／%)



## 企業理念

ミッション

デジタル技術の活用で、  
より豊かな社会を実現する

スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう  
BIGGESTよりBESTになろう  
共感を呼ぶ企業にしよう



## 持続的に成長できる企業体質への変革に 覚悟を持って取り組んでまいります

新型コロナウイルス感染症による影響を主因とする、極めて厳しい経営環境下の当社の取り組みについて社長に聞きました。

代表取締役社長 **たなべ こうへい**  
**田部 耕平**

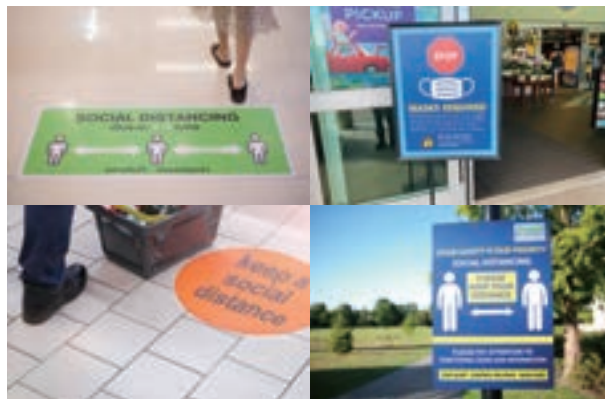
### Q 新型コロナウイルス感染拡大への 対応の方針についてお聞かせください。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が進むなか、当社では、アフターコロナを見据え、「危機対応としての緊急対策」、「安定した経営の維持」、「積極的な攻めの経営」の3つの方針のもと、各施策を展開してまいりました。「危機対応としての緊急対策」では、従業員の安全を第一に考え、感染防止対策を徹底しました。業績対策としては、販管費の圧縮、役員賞与のカットなど収益の影響を最小限にとどめる施策を行いました。「安定した経営の維持」では、想定外の資金需要に備え、コミットメント・ラインを新たに追加しました。また、3月下旬から7月末までの間、日本とタイのそれぞれの工場で、稼働停止を含む生産調整を実施し、在庫の増加を抑制しました。「積極的な攻めの経営」では、当社の強みを活かした攻めの戦略展開に取り組ましました。

### Q コロナ禍における市場の変化を どのように捉えていますか？

サイン市場では、感染拡大防止と経済活動の両立の観点

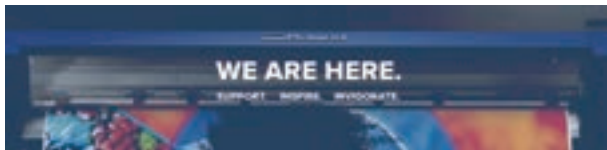
から、ソーシャルディスタンスやマスク着用を促す注意喚起の表示物の需要が新たに生まれるなど、「**エンドユーザーのニーズと行動の変化**」が顕著となりました。当社では、プリント&カット機によるオンデマンド印刷と、コロナ禍でもお客様のビジネスを止めないサポート体制を強みに、新たな需要を獲得することができました。また、医療従事者がマスクや防護服を着用した際に名前や担当を識別するためのネームラベルの製作用途など、医療現場への支援に繋がる事例もありました。



新型コロナウイルスの感染拡大防止の注意喚起の表示物

## Q 顧客サポートの変化を教えてください。

当社グループでは、従来から教育トレーニング、ビジネス提案、顧客サポートの3つに注力してまいりましたが、これらは全て対面コミュニケーションがベースとなっていました。当第2四半期期間は、展示会をはじめ各種イベントは軒並み中止もしくは延期となり、顧客との対面接点が縮小したことともない、その代替手段として、オンラインやSNSの活用が加速しました。つまり、「顧客との接点の変化」です。今年3月には「WE ARE HERE.(私達はここにいます)」をスローガンに、コロナ禍においてもお客様がビジネスを継続できるようSNSを通じて適切な情報を発信してきました。さらに、ICTや最先端のデジタル技術を取り入れたリモートサポートのソリューションを開発し、ロックダウンや外出規制の中においても製品の設置やメンテナンス作業にも対応しています。これらを、コロナ禍における緊急対応にとどめず、“顧客サポートのニューノーマル”へと進化させ、顧客満足度のさらなる向上に努めてまいります。



「WE ARE HERE.」のパナー広告

## Q デンタル分野での変化はあったのでしょうか。

デンタル分野では、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、患者が安心して来院し、治療を受けることができる仕組みとして、1回の通院治療で完了する「One-Visit治療」の実現に高い注目が集まり、「デジタル技術を活用した業務効率化」が加速しています。デンタル事業を担う子会社のDGSHAPE

では、歯科クリニックでの被せ物の加工に最適なDWX-42Wと、近年、普及が進み始めた口腔内スキャナ、ソフトウェアをセットにしたソリューションを開発し、歯科クリニック市場の開拓を進めています。

## Q 業績予想を修正した背景を教えてください。

2020年5月13日に公表しました業績予想の修正では、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が大きく制限されることで、業績に与える影響が極めて大きいと想定しました。しかし、当第2四半期は、北米と欧州の経済活動の再開が想定より早まり、コロナ禍で生まれた表示物需要の獲得ができたことから、プリンターとサプライの販売が想定を上回る結果となりました。第2四半期実績の上振れに加え、第3四半期以降についても前回想定した新型コロナウイルスの感染拡大の業績への影響が少なくなる見込みとなり、8月7日に通期業績予想の修正を行いました。

## Q 最後に、株主の皆さまへ一言 お願いいたします。

新型コロナウイルスにつきましては、いまだ収束の目途が立たない状況が続いております。当社グループでは、新たな生活様式など社会の変化を捉えた用途提案や需要の喚起、新市場の開拓を推進するとともに、製品、販売、サービスサポート力を強化することで、お客様から選ばれる企業として、ブランド価値の向上に努めております。ひいては、アフターコロナでも持続的に成長できる企業体質への変革に覚悟を持って取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご指導・ご支援いただけますようお願い申し上げます。

## 第2四半期決算ハイライト

### ■ 決算ハイライト

当第2四半期は、新型コロナウイルスの影響により、各国の政府方針や要請に従い世界各地の販売拠点では従業員の在宅勤務が始まるなど、当社においてもセールスプロモーション活動が大きく制限されましたが、SNSやウェブサイト、ウェビナーを通じた情報発信や、AR(拡張現実)技術を用いたリモートによるサービスサポートなど、オンラインを活用した顧客や販売代理店とのコミュニケーションに注力しました。

当第2四半期の決算は、サイン市場向けプリンターおよびサプライ品のインク、ならびにデンタル加工機の販売が減少したことに加えて、為替の円高によるマイナス影響があったことで、売上高は減収となりました。費用面では、販売費及び一般管理費は、経費抑制により人件費や広告宣伝費が減少し前年同期を下回りましたが、売上高に対する比率は前年同期から上昇しました。これにより、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

なお、当第2四半期における主要通貨の為替レートは、108.30円/米ドル(前年同期110.06円)、119.35円/ユーロ(前年同期124.35円)でした。

### ■ 連結業績予想

新型コロナウイルスの収束時期の見通しが立たない状況において、合理的に業績予想を算出することは困難です。当社では経済活動の再開にとめない緩やかに業績が回復するものの、年度末まで影響が残るとの想定のもとで通期連結業績予想を算出し、減収損失となる見通しです。なお、これら見通しは、実際の新型コロナウイルスの収束状況やその他外的要因により大きく変動する可能性があります。

IRサイトのご案内 | [www.rolanddg.com/ja/investors/](http://www.rolanddg.com/ja/investors/)

決算に関する詳細情報は、  
当社ホームページにてご覧いただけます。

ローランド ディー.ジー. IR

検索

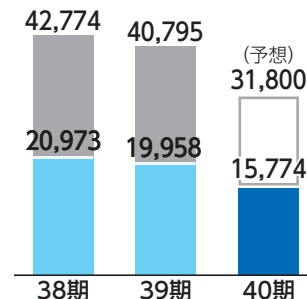


■ 第2四半期 ■ 通期

### 売上高

(単位：百万円)

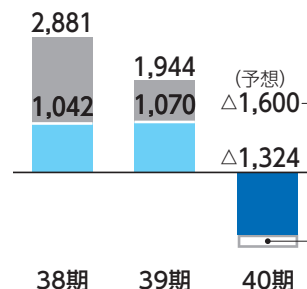
157.74 億 百万円  
(前年同期比 21.0%減↓)



### 親会社株主に帰属する四半期純利益

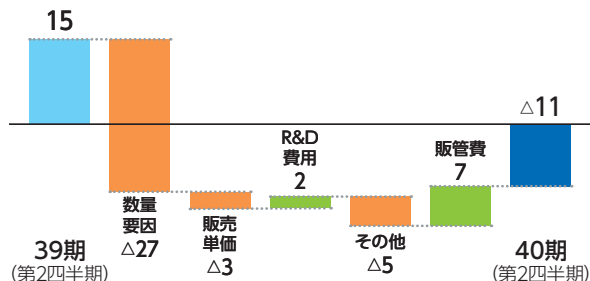
(単位：百万円)

△13.24 億 百万円  
(前年同期は10億70百万円の利益)



### 営業利益の変動要因

(単位：億円)

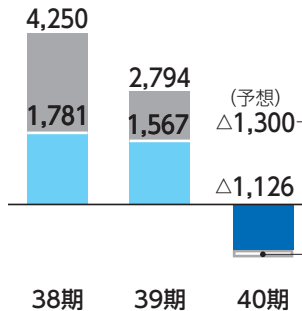


### 営業利益

(単位：百万円)

△ **11.26** 億 百万円

(前年同期は15億67百万円の利益)

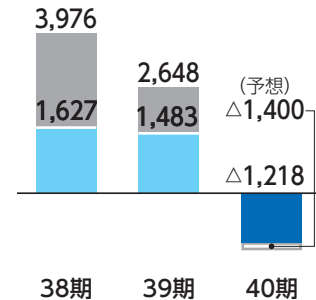


### 経常利益

(単位：百万円)

△ **12.18** 億 百万円

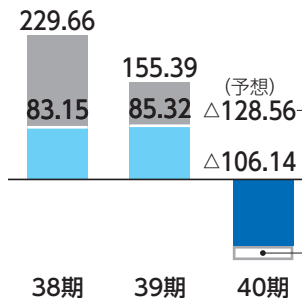
(前年同期は14億83百万円の利益)



### 1株当たり四半期純利益

(単位：円)

△ **106.14** 円



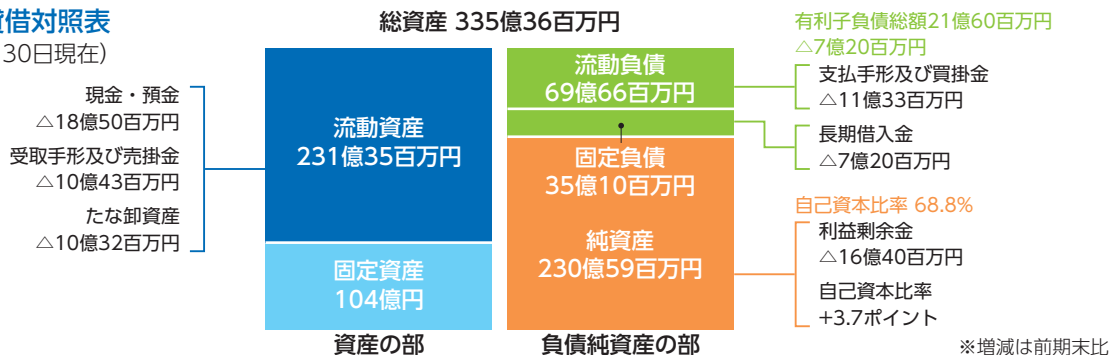
### 第40期通期 連結業績予想

	第40期通期 連結業績予想
売上高	318億円
営業利益	△13億円
経常利益	△14億円
親会社株主に帰属する当期純利益	△16億円

想定為替レート：105.00円/米ドル、120.00円/ユーロ

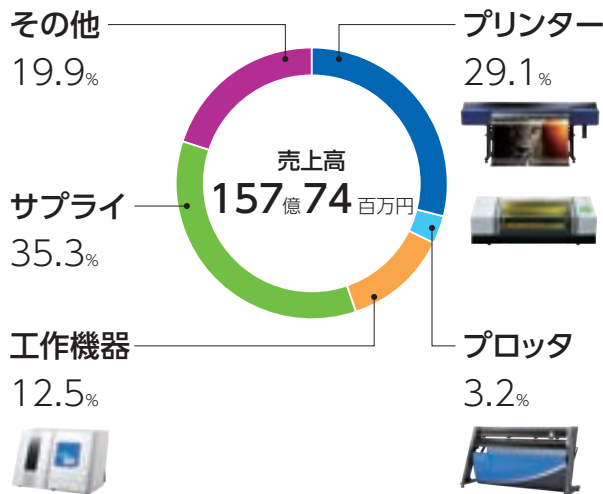
### 要約連結貸借対照表

(2020年6月30日現在)



## 事業の概況(品目別)

## 売上高構成比



デマンド印刷の強みが活きる用途として、新型コロナウイルスの感染対策ステッカーやソーシャルディスタンスを促すフロアサインなどの製作の需要が拡大しましたが、プリンターの売上高は前年同期を下回りました。



## プロッタ

## 売上高

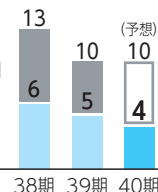
4.97 億 97 百万円

前年同期比 11.0%減 ↓

## 売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



サイン市場向けの大型カッティングマシンの販売が減少しました。



## プリンター

## 売上高

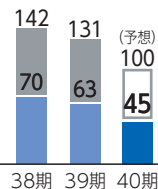
45.91 億 91 百万円

前年同期比 28.1%減 ↓

## 売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



サイン市場では、6月にサイン市場向けプリンターの主力製品群TrueVIS(トゥルービズ)シリーズの拡充として、プリント専用モデル「VF2-640」とシリーズ専用インクの新色「グリーンインク」を発売しました。



リテール市場では、3月に厚みのある材料への印刷を可能にした「LEF2-300D」を発表しました。

コロナ禍において、当社のプリント&カット機能とオン

## 工作機器

## 売上高

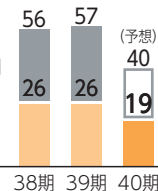
19.76 億 76 百万円

前年同期比 25.3%減 ↓

## 売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



デンタル市場では、オンラインを活用した販売代理店向けの新製品の勉強会やサービストレーニングの実施のほか、ユーザー向けの情報発信など、非対面のコミュニケーションを継続して行うことで、顧客基盤の維持に努めました。しかしながら、顧客の設備投資需要が





減退したことや、デンタル市場において  
歯科クリニックの稼働が制限されたこと  
から、工作機器の販売が減少しました。

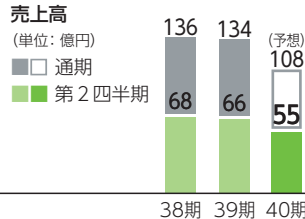


## サプライ

売上高

55億65百万円

前年同期比 16.9%減 ↓



コロナ禍特有の表示物需要があったもの  
の、新型コロナウイルスの影響によりイベ  
ントが中止または延期になるなど、顧客の  
設備稼働が急速に減退したことで、サイン  
市場向けプリンターのインクを中心に販売が減少しました。

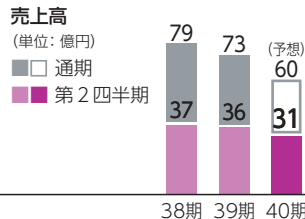


## その他

売上高

31億44百万円

前年同期比 14.3%減 ↓



リモートによるサービスサポートなど、顧客サポートの  
充実により保守・メンテナンスの売上が増加しました。新型  
コロナウイルスの影響により製品の稼働率が低下したこと  
から、サービスパーツの販売が減少し、その他の売上高は  
前年同期を下回りました。

### 新製品情報

#### IU-1000F

発売日 2020年3月



最大2,510×1,310mm、厚さ110mmまでの多種多  
様な素材に高速印刷を行うことができるワイドフォーマット  
UV-LEDフラットベッドプリンター。素材に直接印刷  
ができるため、ボリュームのある出力量を短納期で求  
められるプリントサービスや生産効率を高めて収益拡  
大を図るサイン・ディスプレイビジネスにおける強力な  
ソリューションとなります。

#### VersaUV LEF2-300D

発売日 2020年4月



UV(紫外線)照射で硬化する特  
殊なインクを搭載した卓上型の  
インクジェットプリンターの新モデル。プラスチックや革、  
木材、布など幅広い材料に直接印刷することができる  
ことが特長で、材料や治具をセットするワークスペースを  
従来機より2倍に拡張したことで、さまざまなサイズや  
形状のアイテムに印刷することが可能になりました。創  
造力と提案力を高めたLEF2-300Dは、お客様の新たな  
ビジネス創出に貢献します。

#### TrueVIS VF2-640

発売日 2020年6月20日

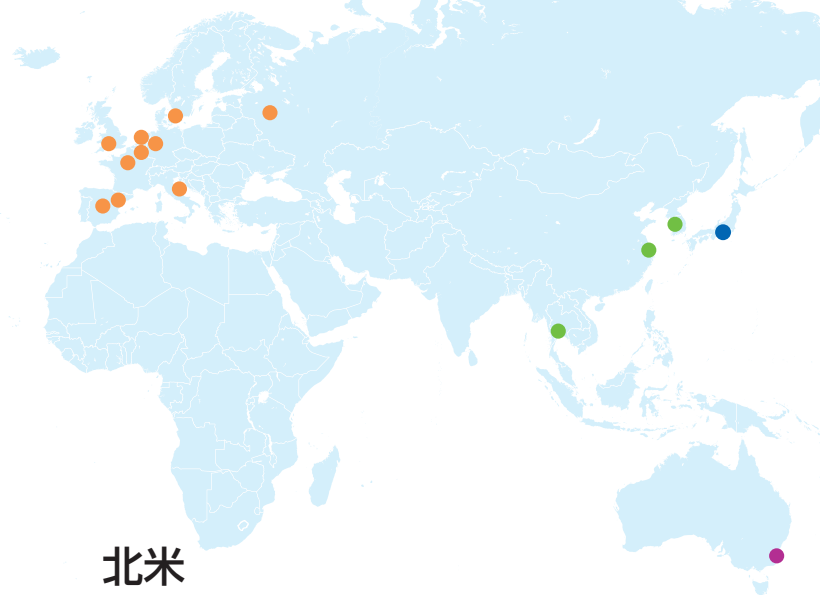
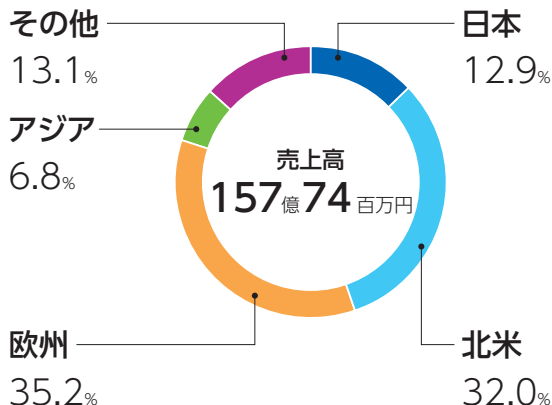


当社史上最高画質を目指して開  
発された、サイン市場向けインク  
ジェットプリンターTrueVISシリーズ初のプリント専用機。  
シリーズ専用インクに新たに「グリーンインク」を追加した  
ことで、さらに色域が広がり、より豊かな表現が可能と  
なりました。VF2-640は、高品質なサイン製作にこだわ  
るプロの方々のニーズに応えます。

## 事業の概況(地域別)

## グローバルネットワークを通じて、200以上の国と地域に製品と

売上高構成比



## 日本

売上高

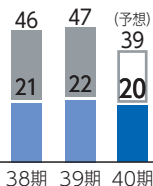
20.39 億 39 百万円

前年同期比 10.2%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

通期	第2四半期
46	21
47	22
39 (予想)	20



新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となり、サイン出力の需要が減退しました。その結果、プリンターでは、サイン市場向けプリンターおよびリテイル市場向けUVプリンターならびにインクを中心とするサプライの売上が減少しました。工作機器では、3Dものづくり市場とデンタル市場の販売が低調に推移し、前年同期に比べ減少しました。

## 北米

売上高

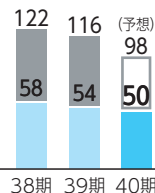
50.53 億 53 百万円

前年同期比 7.9%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

通期	第2四半期
122	58
116	54
98 (予想)	50



デンタル市場では、新型コロナウイルス感染拡大で歯科クリニックの営業が制限される前の第1四半期期間(1~3月)における積極的なセールスプロモーション活動が奏功し、第2四半期累計期間は、前年同期を上回る結果となりました。プリンターでは、TrueVISシリーズの販売が順調に推移しました。また、コロナ禍特有の表示物およびインハウスやスモールビジネスの需要が高まりましたが、サイン市場全体では顧客の出力需要が減退したため、インクの販売が減少しました。

## サービスを提供しています

### アジア

売上高

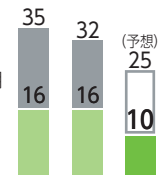
10億73百万円

前年同期比 34.1%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



38期 39期 40期

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった中国を中心に、韓国、ASEAN地域などの周辺地域において大きく売上が減少しました。中国では、サイン市場向けプリンターとサービスパーツの販売が減少しました。韓国では、サイン市場向けプリンターとデンタル加工機の販売が減少しました。ASEAN地域では、サービスパーツの販売が大きく減少しました。

### 欧州

売上高

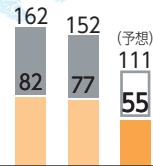
55億51百万円

前年同期比 27.9%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



38期 39期 40期

売上構成比が高いイタリア、スペインでは特に新型コロナウイルスの影響が顕著で、前年同期と比べて大きく減少しました。プリンターでは、サイン市場向けのプリンターおよび低溶剤インクの販売が減少しました。工作機器では、デンタル市場において、新規販売網開拓の成果があったロシアを除いてデンタル加工機の販売が低迷しました。

これらの結果に加え、ユーロに対する円高の影響もありました。

### その他

売上高

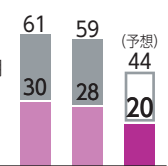
20億56百万円

前年同期比 28.4%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期  
■ 第2四半期



38期 39期 40期

その他地域では、ブラジルを含む中南米およびオーストラリアにおいて、プリンターとサプライの販売が減少しました。アフリカ地域においては、主にサイン市場向けプリンターの販売が減少しました。

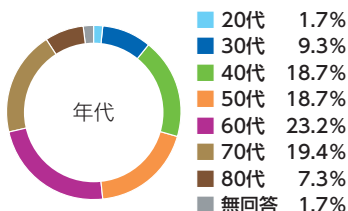
## 株主さまコーナー

## 株主さまアンケート集計結果

期間: 2020年3月23日~2020年6月30日

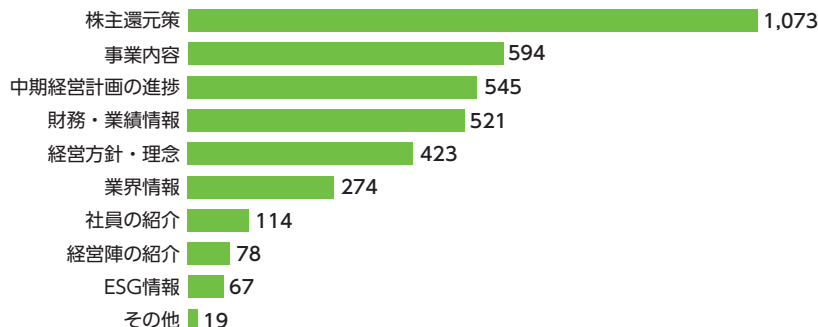
回答数: 2,025名(2019年12月31日現在の株主数: 22,509名)

前回の DG Value News に同封しました株主さまアンケートの結果の一部をご紹介します。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見・ご要望は今後の経営や IR 活動に活かしてまいります。



## Q 当社に関してもっとお知りになりたい情報をお聞かせください(複数回答可)

「株主還元策」についてもっと知りたいと望まれる株主さまが最も多いという結果となりました。2020年7月30日公表の「株主優待制度の変更に関するお知らせ」のとおり、2020年12月基準日より株主優待制度を変更いたします。詳しくは、本誌裏表紙をご参照ください。



## 株主さま



株主さまアンケートにお寄せいただいたご質問にお答えいたします。



株主総会でも申し上げましたが、抜本的な改革が必要だと考えています。



現在、当社の主力市場は厳しい競争環境下にあり、次の成長に向けては「事業ポートフォリオの転換」と「収益力の強化」が課題となっています。今後、これら課題を解決すべく改革に着手するとともに、持続的成長の実現に向け、2021年を初年度とする次期中期経営計画の策定を進めております。なお、次期中期経営計画は、2021年2月に公表を予定しております。



## 株主優待品 寄付のご報告

2019年12月31日現在の株主さまにお送りしました「株主優待カタログ」において「貧困、震災、豪雨などで被災した東北地区(岩手、宮城、福島)の子どもたちへの支援」への寄付を募集させていただいたところ、多数の株主さまにご賛同いただき、92,500円を認定NPO法人「カタリバ」へ寄付させていただきました。また、株主優待権利未執行分につきましては、「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援」として、認定NPO法人「国境なき子どもたち」へ780,000円を当社名義で寄付させていただきましたことを併せてご報告いたします。多数の株主さまのご芳志を賜り、厚くお礼申し上げます。



## 第39期 定時株主総会のご報告

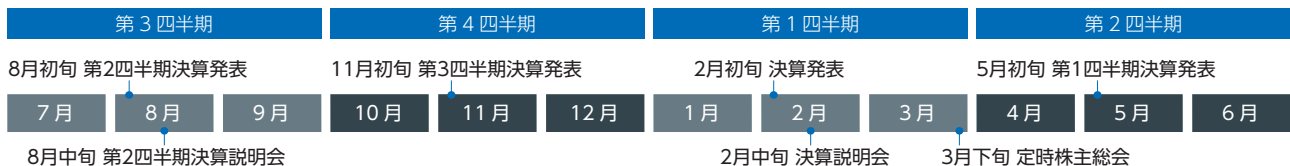
2020年3月19日午後1時より、静岡県浜松市のオークラアクトシティ浜松において、第39期定時株主総会を開催し、121名の株主さまにお越しいただきました。決議事項の3議案(「剰余金の処分の件」、「取締役9名選任の件」、「監査役2名選任の件」)につきましては、原案どおり承認可決され、午後2時14分に閉会いたしました。

本株主総会は、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるなかでの開催となりました。当社では、感染予防のため、株主さまに議決権行使書の返送およびインターネットによる議決権行使をお願いするとともに、会場では、最小限の運営とさせていただきます。改めまして、本株主総会への株主の皆さまのご協力に感謝申し上げます。



株主総会の様子

## 年間IRカレンダー



# 会社情報 / 株式情報 (2020年6月30日現在)

## ■ 会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	1,210人(連結)

## ■ 役員一覧

取締役会長	藤岡秀則
取締役社長	田部耕平
取締役	橋本浩一
取締役	上井敏治
取締役	エリー・キースマーカース
社外取締役	廣瀬卓生
社外取締役	細窪政子
社外取締役	岡田直子
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド
常勤監査役	鈴木正康
常勤監査役	長野直樹
社外監査役	松田茂樹
社外監査役	本田光宏

※1 代表取締役です。  
 ※2 (株)東京証券取引所が定める独立役員です。

## ■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## ■ 事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	東京、名古屋、大阪、福岡
サポートセンター	札幌、仙台、広島

## ■ 連結子会社

Roland DGA Corporation (アメリカ)  
 Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)  
 Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)  
 Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)  
 Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)  
 Roland DG North Europe A/S (デンマーク)  
 Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)  
 Roland DG (China) Corporation (中国)  
 Roland DG Korea Inc. (韓国)  
 Roland DG Brasil Ltd. (ブラジル)  
 Roland DG EMEA, S.L. (スペイン)  
 Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)  
 Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)  
 Roland DG Europe Holdings B.V. (オランダ)  
 Roland DG RUS LLC (ロシア)  
 DGSHAPE株式会社 (日本)  
 Roland DG France SAS (フランス)

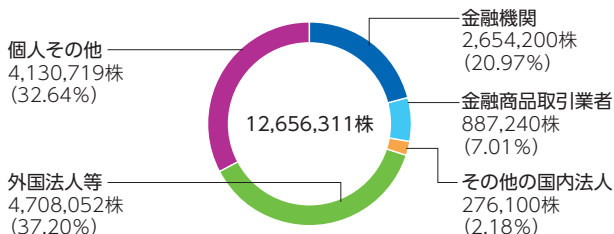
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	12,656,311株
株主数	14,576人

株主名	持株数	持株比率
TAIYO HANEI FUND, L.P.	891,700株	7.05%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	852,300株	6.73%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	798,000株	6.31%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	705,800株	5.58%
TAIYO FUND, L.P.	439,300株	3.47%
JPモルガン証券株式会社	336,209株	2.66%
富岡昌弘	326,900株	2.58%
ローランド ディー.ジー.社員持株会	283,670株	2.24%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	223,500株	1.77%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	209,700株	1.66%

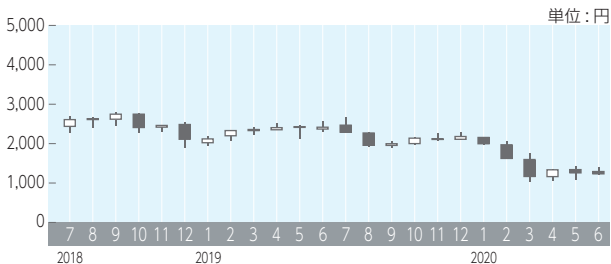
※持株比率は発行済株式総数から自己株式数257株を除いた数に基づき、算出しております。  
 ※持株比率の計算上、役員向け株式給付信託及び従業員向けインセンティブプラン「株式給付 ESOP」の信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有している当社株式 240,900株を含めて計算しております。

## ■ 所有数別状況



※自己名義株式257株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。  
 ※記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

## ■ 株価の推移



事業年度	毎年1月1日から12月31日
定時株主総会開催時期	3月中
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、インターネットホームページに掲載します。 <a href="http://www.rolanddg.com/ja/investors/">www.rolanddg.com/ja/investors/</a> ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
本誌に関する お問い合わせ先	広報IRユニット TEL 053-484-1400
株式・株主優待に 関するお問い合わせ先	広報IRユニット TEL 053-424-6058

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

当社 IR サイトがホームページランキング調査で入賞しました。  
今後もコンテンツや機能を拡充し、積極的に情報開示を行ってまいります。



企業ホームページ  
優良サイト  
2019  
日興アイ・アール  
総合ランキング

### ■ 最新IRイベント

直近の決算発表日や個人投資家向けのIRイベントへの出展など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

### ■ 個人投資家の皆様へ

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

### ■ IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

[www.rolanddg.com/ja/investors/](http://www.rolanddg.com/ja/investors/)

ローランド ディー.ジー. IR

検索



### マルチデバイスへの対応

当社の IR 情報をスマートフォンやタブレットからも閲覧いただくことができます。上記 URL に直接アクセスしてご利用いただけます。



# 株主優待制度を変更いたします！

当社では、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えし、株主優待制度を設けております。

今回、株主の皆さまに継続的に当社株式を保有していただくことを目的として、以下のとおり株主優待制度を変更いたします。



7月30日公表「株主優待制度の変更に関するお知らせ」は、当社ホームページにてご覧いただけます。

▶ <https://www.rolanddg.com/ja/investors/ir-news>

## 変更後の株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上300株未満	1年未満	—
	1年以上 <sup>(※1)</sup>	当社オリジナルカタログより3,000円相当の商品を1品贈呈
300株以上	1年未満	—
	1年以上 <sup>(※2)</sup>	当社オリジナルカタログより5,000円相当の商品を1品贈呈

※1 「100株以上300株未満を1年以上継続保有」とは、株主名簿基準日(6月30日現在および12月31日現在)の株主名簿に、同一株主番号で100株以上の保有が権利確定日(12月31日現在)を含めて連続して3回以上記載され、かつそのうち1回以上300株未満であった場合をいいます。

※2 「300株以上を1年以上継続保有」とは、株主名簿基準日(6月30日現在および12月31日現在)の株主名簿に、同一株主番号で300株以上の保有が権利確定日(12月31日現在)を含めて連続して3回以上記載されている場合をいいます。

## 1. 変更の時期と経過措置

2020年12月31日現在の株主名簿に記載された株主さまを対象とする株主優待から実施いたします。なお、経過措置として、次回2020年12月31日基準の株主優待に限り、継続保有期間の条件を適用いたしません。2021年12月31日基準の株主優待から継続保有期間の条件を適用いたします。

## 2020年12月31日基準の株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上300株未満	—	当社オリジナルカタログより3,000円相当の商品を1品贈呈
300株以上	—	当社オリジナルカタログより5,000円相当の商品を1品贈呈

## 2. 株主優待制度に関するお問い合わせ先

ローランド ディー.ジー.株式会社 広報IRユニット

TEL 053-484-1400 (受付時間 9:00~17:15 土・日・祝日を除く)

Imagine.  Roland  
www.rolanddg.com

 UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

 VEGETABLE  
OIL INK